

現在の医薬品の供給状況と 今後の供給状況調査等について

日薬連 安定確保委員会
供給不安解消タスクフォース

はじめに

日薬連として、2022年5月より、「医薬品供給状況にかかる調査」（以下、本調査）を3か月に1回のペースで実施し、その結果を公表していますが、依然として多くの医薬品に供給不安が生じ、医療機関・薬局では必要な医薬品の入手が困難な状況が続いています。この状況を改善すべく、2023年4月からは、厚生労働省と連携し、本調査の調査頻度を3か月に1回から毎月調査へ変更するとともに、調査項目の見直しと追加を行いました。また、8月調査、9月調査では、より適切な情報を提供するため一部項目を見直し、12月調査では公表情報の追加を行っています。

さらに、2024年4月からは、供給情報の速やかな医療機関への共有を目的に、製造販売企業の皆様には、日薬連の「医薬品供給状況にかかる調査」に加えて、供給情報の速やかな医療機関への共有を目的に厚生労働省の「供給状況報告」にもご対応いただいています。これにともない本調査は2月調査より、4月から厚生労働省が求める「供給状況報告」の内容を反映したものとなっています。

本資料では、下記についてお示し致します。

- 日薬連「供給状況調査」
 - －日薬連「供給状況調査」について
 - －日薬連「供給状況調査」の公表内容
- 現在の医薬品の供給状況
 - －医薬品の供給状況
 - －製造販売業者の対応状況
 - －製造販売企業の皆様へのお願い
- 日薬連「供給状況調査」と厚労省「供給状況報告」
 - －日薬連「供給状況調査」の調査項目
 - －日薬連「供給状況調査」と厚労省「供給状況報告」の項目一覧
 - －日薬連「供給状況調査」と厚労省「供給状況報告」の差異解消のお願い
- 問い合わせ先

日薬連「供給状況調査」

日薬連「供給状況調査」について

○日薬連「供給状況調査」の目的

- － 医療機関・薬局・卸売販売業者の皆様にご確認いただく。
- － 製造販売企業が他社品の影響によって「限定出荷」を行っている自社品を「通常出荷」に移行する際の判断情報として用いる。
- － 供給状況とその理由を把握することで当局と業界が連携して供給不安解消に向けた対策を検討する。

○2022年5月から調査を開始し、2023年4月から毎月実施

- － 毎月末時点における全薬価収載医薬品の供給状況を調査、翌月中旬に公表
6,701成分規格、17,447収載銘柄、対象製造販売承認企業は326社（2024年12月調査）
- － 2024年2月から厚生労働省が求める「供給状況報告」の内容を反映

○供給状況とその理由をより正確に把握するため、随時調査内容を見直し

- － 2023年8月調査からは「限定出荷／供給停止の理由」で「その他の理由」を選択した品目について製造販売企業にその理由を選択いただいている（複数選択）（**非公開**）。
- － 2023年9月調査からは「薬価削除予定」を選択した品目については、実際に厚労省に「薬価基準収載品目削除願」を提出した年月を記載いただいている（**非公開**）。

○調査・公表内容

- － 製造販売業者の「出荷対応」の状況
- － 限定出荷／出荷停止の理由
- － 限定出荷の解除見込み／出荷停止の解消見込み
- － 製造販売業者の出荷量の状況
- － 製造販売企業の供給情報に関するHPのURL など

○公表方法

- － 日薬連ホームページ（<http://www.fpmaj.gr.jp/>）上に一覧で掲載（excel）

本調査の公表HP

MEDICAL INFO

医療関係者の皆様へ

[ホーム](#) > [医療関係者の皆様へ](#) > [医薬品供給状況にかかる調査結果](#)

医薬品供給状況にかかる調査結果

2020年12月以降、多くの医薬品の製造が停止し、現在も多くの医薬品で供給不安が続いております。このことから、日薬連ではその解消の一助となるよう、厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課様と連携しながら、製造販売企業に対して卸売販売業者様への医薬品の販売（供給）状況について報告を求め、「医薬品の供給状況にかかる調査」を行い、その結果を一覧で公表させていただいています。

掲載年月	調査について	調査結果	成分規格リスト
2024年1月	pdf	xlsx	xlsx
2023年12月	pdf	xlsx	xlsx
2023年11月	pdf	xlsx	xlsx
2023年10月	pdf	xlsx	xlsx
2023年9月	pdf	xlsx	xlsx
2023年8月	pdf	xlsx	xlsx
2023年7月	pdf	xlsx	xlsx
2023年6月	pdf	xlsx	xlsx
2023年5月	pdf	xlsx	-

本調査の公表内容

- 医療機関・薬局・卸売販売業者の皆様には、excel一覧の「成分」、「規格」、「製造販売承認企業」、「製品名」を選択いただくことで、確認したい医薬品の供給状況をご確認いただけます。
- 製造販売業者の皆様には、他社品の影響によって限定出荷を行っている自社品の「成分」、「規格」を選択いただくことで、通常出荷移行の判断情報としてご活用いただけます。

①薬剤区分	③成分名	④規格単位※全角	⑤Yコード	⑥品名（承認所に記載の正式名称）※全角	⑦製造販売会社名	⑧製品区分	⑨基礎的医薬品	⑩安定性医薬品	記号	当該成分規格の通常出荷 品目数割合	⑫製造販売業者の 「出荷対応」の状況	⑬限定出荷/供給停止の理由	⑭限定出荷の解除見込み／ 供給停止の解消見込み	⑮限定出荷の解除見込み時期／ 供給停止の解消見込み 販売中止品目の在庫消尽時期	⑯製造販売業者の 「出荷量」の状況
内用薬	d-リーゾプレナリン塩酸塩	7, 5 mg 1 カプセル	1339001N1039	インメニールカプセル7, 5 mg	科研	先発品			◎	全銘柄通常出荷	①通常出荷	7, ー	エ, ー		A, 出荷量通常
内用薬	d-リーゾプレナリン塩酸塩	1 5 mg 1 錠	2119002G1035	プロタノールS錠1 5 mg	興和	その他医薬品			◎	全銘柄通常出荷	①通常出荷	7, ー	エ, ー		A, 出荷量通常
内用薬	d-リーメチルエフェドリン塩酸塩	1 0 % 1 g	2221003B2067	メチエフ散1 0 %	ニプロESファーマ	その他医薬品			△	通常出荷割合20以上50%以下	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	d-リーメチルエフェドリン塩酸塩	1 0 % 1 g	2221003B2083	メチルエフェドリン散1 0 % 「フソー」	扶桑	その他医薬品			△	通常出荷割合20以上50%以下	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	d-リーメチルエフェドリン塩酸塩	1 0 % 1 g	2221003B2180	d-リーメチルエフェドリン塩酸塩散1 0 % 「マルイシ」	丸石	その他医薬品			△	通常出荷割合20以上50%以下	①通常出荷	7, ー	エ, ー		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	d-リーメチルエフェドリン塩酸塩	1 0 % 1 g	2221003B2199	d-リーメチルエフェドリン塩酸塩散1 0 % 「メタル」	中北	その他医薬品			△	通常出荷割合20以上50%以下					
内用薬	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸塩	1 % 1 g	4419002B1033	ボララミン散1 %	高田	その他医薬品			×	通常出荷割合0 %	②限定出荷（自社の事情）	8, その他の理由	ウ, 未定	ー	B, 出荷量減少
内用薬	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸塩	2 mg 1 錠	4419002F1027	ボララミン錠2 mg	高田	その他医薬品			×	通常出荷割合0 %	②限定出荷（自社の事情）	8, その他の理由	ア, あり	2024年8月1日	B, 出荷量減少
内用薬	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸塩	2 mg 1 錠	4419002F1043	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸錠2 mg 「武田テバ」	武田テバファーマ	後発品			×	通常出荷割合0 %	⑤供給停止	6, 薬価削除	エ, ー		D, 薬価削除予定
内用薬	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸塩	2 mg 1 錠	4419002F1051	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸錠2 mg 「N I G」	日医工岐阜	後発品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定	2023/12/6発売	A, 出荷量通常
内用薬	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸塩	6 mg 1 錠	4419002G1120	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸錠6 mg 「武田テバ」	武田テバファーマ	後発品			×	通常出荷割合0 %	⑤供給停止	6, 薬価削除	エ, ー		D, 薬価削除予定
内用薬	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸塩	0, 0 4 % 1 0 m L	4419002Q1095	ボララミンシロップ0, 0 4 %	高田	準先発品			○	通常出荷割合50 %超100 %未満	①通常出荷	7, ー	エ, ー	ー	A, 出荷量通常
内用薬	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸塩	0, 0 4 % 1 0 m L	4419002Q1125	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸シロップ0, 0 4 % 「トーワ」	東和薬品	後発品			○	通常出荷割合50 %超100 %未満	②限定出荷（自社の事情）	8, その他の理由	ウ, 未定		B, 出荷量減少
内用薬	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸塩	0, 0 4 % 1 0 m L	4419002Q1133	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸シロップ0, 0 4 % 「トーワ」	鶴原	後発品			○	通常出荷割合50 %超100 %未満	①通常出荷	7, ー	エ, ー		A, 出荷量通常
内用薬	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸塩	0, 0 4 % 1 0 m L	4419002Q1141	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸シロップ0, 0 4 % 「日新」	日新製薬	後発品			○	通常出荷割合50 %超100 %未満	①通常出荷	7, ー	エ, ー		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸塩	0, 2 % 1 g	4419002R1031	ボララミンドライシロップ0, 2 %	菊田	その他医薬品			×	通常出荷割合0 %	②限定出荷（自社の事情）	8, その他の理由	ウ, 未定	未定	B, 出荷量減少
内用薬	D-ソルビトール	6 5 % 1 0 m L	7990001S2031	D-ソルビトール内用液6 5 % 「マルイシ」	丸石	その他医薬品			◎	全銘柄通常出荷	①通常出荷	7, ー	エ, ー		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	D-ソルビトール	7 5 % 1 0 m L	7990001S3054	D-ソルビトール経口液7 5 % 「コーワ」	興和	その他医薬品			◎	全銘柄通常出荷	①通常出荷	7, ー	エ, ー		A, 出荷量通常
内用薬	Ｌ-アスパラギン酸カリウム	5 0 % 1 g	3229005B1038	アスパラカリウム散5 0 %	ニプロESファーマ	その他医薬品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		B, 出荷量減少
内用薬	Ｌ-アスパラギン酸カリウム	3 0 0 mg 1 錠	3229005F1080	アスパラカリウム錠3 0 0 mg	ニプロESファーマ	その他医薬品			×	通常出荷割合0 %	②限定出荷（自社の事情）	3, 製造トラブル（製造委託を含む）	ウ, 未定		B, 出荷量減少
内用薬	Ｌ-アスパラギン酸カリウム	3 0 0 mg 1 錠	3229005F1102	Ｌ-アスパラギン酸K錠3 0 0 mg 「アメル」	共和薬品	後発品			×	通常出荷割合0 %	⑤供給停止	8, その他の理由	イ, なし		C, 出荷停止
内用薬	Ｌ-アスパラギン酸カリウム・Ｌ-アスパラギン酸マグネシウム	（1 5 0 mg）1 錠	3229102F1107	アスパラ配合錠	田辺三菱	その他医薬品			◎	全銘柄通常出荷	①通常出荷	7, ー	エ, ー		A, 出荷量通常
内用薬	Ｌ-アスパラギン酸カルシウム	1 錠	3214001F1020	アスパラーC A錠2 0 0	ニプロESファーマ	その他医薬品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（自社の事情）	3, 製造トラブル（製造委託を含む）	ア, あり		B, 出荷量減少
内用薬	Ｌ-アスパラギン酸カルシウム	1 錠	3214001F1047	Ｌ-アスパラギン酸C a錠2 0 0 mg	沢井	後発品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		A, 出荷量通常
内用薬	Ｌ-アスパラギン酸カルシウム	1 錠	3214001F1063	Ｌ-アスパラギン酸C a錠2 0 0 mg 「トーワ」	東和薬品	後発品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		A, 出荷量通常
内用薬	Ｌ-アルギニン・Ｌ-アルギニン塩酸塩	1 g	3999100D1037	アルギン配合顆粒	E Aファーマ	先発品			◎	全銘柄通常出荷	①通常出荷	7, ー	エ, ー		A, 出荷量通常
内用薬	Ｌ-エチルシステイン塩酸塩	1 0 0 mg 1 錠	2233001F1234	チスタニン糖衣錠1 0 0 mg	ニプロESファーマ	先発品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		B, 出荷量減少
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	5 0 % 1 g	2233002C1089	カルボシステイン細粒5 0 % 「ツルハラ」	鶴原	後発品			×	通常出荷割合0 %	②限定出荷（自社の事情）	2, 原材料調達上の問題	イ, なし		A, 出荷量通常
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	2 5 0 mg 1 錠	2233002F1174	ムコダイン錠2 5 0 mg	杏林	長期収載品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	2 5 0 mg 1 錠	2233002F1280	カルボシステイン錠2 5 0 mg 「サワイ」	沢井	後発品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		A, 出荷量通常
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	2 5 0 mg 1 錠	2233002F1298	カルボシステイン錠2 5 0 mg 「トーワ」	東和薬品	後発品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	2 5 0 mg 1 錠	2233002F1301	カルボシステイン錠2 5 0 mg 「テバ」	武田テバファーマ	後発品			×	通常出荷割合0 %	⑤供給停止	6, 薬価削除	エ, ー		D, 薬価削除予定
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	2 5 0 mg 1 錠	2233002F1328	カルボシステイン錠2 5 0 mg 「J G」	日本ジェネリック	後発品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（その他）	1, 需要増	ウ, 未定		B, 出荷量減少
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	2 5 0 mg 1 錠	2233002F1336	カルボシステイン錠2 5 0 mg 「T C K」	辰巳	後発品			×	通常出荷割合0 %	②限定出荷（自社の事情）	3, 製造トラブル（製造委託を含む）	ウ, 未定		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	2 5 0 mg 1 錠	2233002F1344	カルボシステイン錠2 5 0 mg 「ツルハラ」	鶴原	後発品			×	通常出荷割合0 %	②限定出荷（自社の事情）	2, 原材料調達上の問題	イ, なし		A, 出荷量通常
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	2 5 0 mg 1 錠	2233002F1352	カルボシステイン錠2 5 0 mg 「N I G」	日医工岐阜	後発品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		A, 出荷量通常
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	5 0 0 mg 1 錠	2233002F2022	ムコダイン錠5 0 0 mg	杏林	長期収載品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	5 0 0 mg 1 錠	2233002F2103	カルボシステイン錠5 0 0 mg 「サワイ」	沢井	後発品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		A, 出荷量通常
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	5 0 0 mg 1 錠	2233002F2111	カルボシステイン錠5 0 0 mg 「トーワ」	東和薬品	後発品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	5 0 0 mg 1 錠	2233002F2146	カルボシステイン錠5 0 0 mg 「J G」	日本ジェネリック	後発品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		B, 出荷量減少
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	5 0 0 mg 1 錠	2233002F2154	カルボシステイン錠5 0 0 mg 「T C K」	辰巳	後発品			×	通常出荷割合0 %	②限定出荷（自社の事情）	3, 製造トラブル（製造委託を含む）	ウ, 未定		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	5 0 0 mg 1 錠	2233002F2162	カルボシステイン錠5 0 0 mg 「ツルハラ」	鶴原	後発品			×	通常出荷割合0 %	⑤供給停止	2, 原材料調達上の問題	イ, なし		C, 出荷停止
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	5 0 0 mg 1 錠	2233002F2170	カルボシステイン錠5 0 0 mg 「N I G」	日医工岐阜	後発品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		A, 出荷量通常
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	5 % 1 m L	2233002Q1035	ムコダインシロップ5 %	杏林	長期収載品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		A, 出荷量通常

現在の医薬品の供給状況

供給状況の概要（全剤形）

- 全品目で「通常出荷以外」は**19.0%**、後発品では「通常出荷以外」は**25.2%**である。
- これらの中から**薬価削除予定品目を除く**と全品目で「通常出荷以外」は**13.6%**、後発品では「通常出荷以外」は**17.1%**であり（次頁参照）、前月の**13.8%**、**17.1%**から改善していない。

製造販売業者の対応状況

製造販売業者の 「出荷対応」の状況	合計		先発品		長期収載品		後発品		その他の医薬品	
	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比
通常出荷	13,593	81.0%	2,696	91.7%	1,145	87.8%	6,001	74.8%	3,751	83.2%
通常出荷以外	3,182	19.0%	244	8.3%	159	12.2%	2,021	25.2%	758	16.8%
限定出荷	1,767	10.5%	149	5.1%	114	8.7%	1,034	12.9%	470	10.4%
自社の事情	679	4.0%	66	2.2%	42	3.2%	371	4.6%	200	4.4%
他社品の影響	925	5.5%	71	2.4%	64	4.9%	578	7.2%	212	4.7%
その他	163	1.0%	12	0.4%	8	0.6%	85	1.1%	58	1.3%
供給停止	1,415	8.4%	95	3.2%	45	3.5%	987	12.3%	288	6.4%
合計	16,775	100%	2,940	100%	1,304	100%	8,022	100%	4,509	100%

(参考) 基礎的医薬品		(参考) 安定確保医薬品					
品目数	構成比	品目数	構成比	A	B	C	
1,672	83.7%	3,903	78.1%	206	69	3,628	
326	16.3%	1,092	21.9%	61	41	990	
287	14.4%	627	12.6%	48	31	548	
111	5.6%	226	4.5%	18	14	194	
152	7.6%	340	6.8%	29	17	294	
24	1.2%	61	1.2%	1	0	60	
39	2.0%	465	9.3%	13	10	442	
1,998	100%	4,995	100%	267	110	4,618	

製造販売業者の出荷量の状況

製造販売業者の 「出荷量」の状況	合計		先発品		長期収載品		後発品		その他の医薬品	
	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比
A.プラス.出荷量増加	3,589	21.4%	176	6.0%	89	6.8%	2,850	35.5%	474	10.5%
A.出荷量通常	10,137	60.4%	2,473	84.1%	981	75.2%	3,429	42.7%	3,254	72.2%
B.出荷量減少	1,147	6.8%	127	4.3%	165	12.7%	422	5.3%	433	9.6%
C.出荷停止	422	2.5%	53	1.8%	22	1.7%	233	2.9%	114	2.5%
D.販売中止	1,480	8.8%	111	3.8%	47	3.6%	1,088	13.6%	234	5.2%
合計	16,775	100%	2,940	100%	1,304	100%	8,022	100%	4,509	100%

(参考) 基礎的医薬品		(参考) 安定確保医薬品					
品目数	構成比	品目数	構成比	A	B	C	
280	14.0%	1,233	24.7%	79	22	1,132	
1,438	72.0%	2,796	56.0%	136	62	2,598	
241	12.1%	345	6.9%	39	16	290	
29	1.5%	120	2.4%	2	4	114	
10	0.5%	501	10.0%	11	6	484	
1,998	100%	4,995	100%	267	110	4,618	

※品目数：全薬価収載品目のうち、適切な回答があった品目（16,775品目）について集計
 ※その他医薬品：局方品、漢方エキス剤、生薬、生物製剤（ワクチン、血液製剤等）、承認が昭和42年以前の医薬品など
 ※基礎的医薬品：医療上の必要性から薬価上の措置（薬価の下支え）が行われている医薬品
 ※安定確保医薬品：医療上必要不可欠であって、汎用され、安定確保について特に配慮が必要な医薬品

製造販売業者の「出荷対応」の状況（全剤形）

- 「薬価削除予定」品目は『「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている品目』である（既に薬価削除の承認が得られている状況）。これらの品目はそれ以外の品目とは状況が異なるため、製造販売業者の「出荷対応」の状況では分けて集計している。
- 「薬価削除予定」品目を除いた「薬価削除予定以外」では全品目で「通常出荷以外」は13.6%、後発品では「通常出荷以外」は17.1%であり、前月の13.8%、17.1%から改善していない。

	製造販売業者の 「出荷対応」の状況	合計		先発品		長期収載品		後発品		その他の医薬品		(参考) 基礎的医薬品		(参考) 安定確保医薬品				
		品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	A	B	C
全体	通常出荷	13,593	81.0%	2,696	91.7%	1,145	87.8%	6,001	74.8%	3,751	83.2%	1,672	83.7%	3,903	78.1%	206	69	3,628
	通常出荷以外	3,182	19.0%	244	8.3%	159	12.2%	2,021	25.2%	758	16.8%	326	16.3%	1,092	21.9%	61	41	990
	限定出荷	1,767	10.5%	149	5.1%	114	8.7%	1,034	12.9%	470	10.4%	287	14.4%	627	12.6%	48	31	548
	自社の事情	679	4.0%	66	2.2%	42	3.2%	371	4.6%	200	4.4%	111	5.6%	226	4.5%	18	14	194
	他社品の影響	925	5.5%	71	2.4%	64	4.9%	578	7.2%	212	4.7%	152	7.6%	340	6.8%	29	17	294
	その他	163	1.0%	12	0.4%	8	0.6%	85	1.1%	58	1.3%	24	1.2%	61	1.2%	1	0	60
	供給停止	1,415	8.4%	95	3.2%	45	3.5%	987	12.3%	288	6.4%	39	2.0%	465	9.3%	13	10	442
	合計	16,775	100%	2,940	100%	1,304	100%	8,022	100%	4,509	100%	1,998	100%	4,995	100%	267	110	4,618
	通常出荷	13,216	86.4%	2,630	93.0%	1,124	89.4%	5,745	82.9%	3,717	86.9%	1,672	84.1%	3,782	84.2%	206	69	3,507
	通常出荷以外	2,079	13.6%	199	7.0%	133	10.6%	1,189	17.1%	558	13.1%	316	15.9%	712	15.8%	50	35	627
薬価削除予定以外	限定出荷	1,657	10.8%	146	5.2%	111	8.8%	956	13.8%	444	10.4%	287	14.4%	592	13.2%	48	31	513
	自社の事情	605	4.0%	64	2.3%	41	3.3%	315	4.5%	185	4.3%	111	5.6%	200	4.5%	18	14	168
	他社品の影響	899	5.9%	70	2.5%	63	5.0%	559	8.1%	207	4.8%	152	7.6%	334	7.4%	29	17	288
	その他	153	1.0%	12	0.4%	7	0.6%	82	1.2%	52	1.2%	24	1.2%	58	1.3%	1	0	57
	供給停止	422	2.8%	53	1.9%	22	1.8%	233	3.4%	114	2.7%	29	1.5%	120	2.7%	2	4	114
	合計	15,295	100%	2,829	100%	1,257	100%	6,934	100%	4,275	100%	1,988	100%	4,494	100%	256	104	4,134
	通常出荷	377	25.5%	66	59.5%	21	44.7%	256	23.5%	34	14.5%	0	0.0%	121	24.2%	0	0	121
通常出荷以外	1,103	74.5%	45	40.5%	26	55.3%	832	76.5%	200	85.5%	10	100%	380	75.8%	11	6	363	
薬価削除予定	限定出荷	110	7.4%	3	2.7%	3	6.4%	78	7.2%	26	11.1%	0	0.0%	35	7.0%	0	0	35
	自社の事情	74	5.0%	2	1.8%	1	2.1%	56	5.1%	15	6.4%	0	0.0%	26	5.2%	0	0	26
	他社品の影響	26	1.8%	1	0.9%	1	2.1%	19	1.7%	5	2.1%	0	0.0%	6	1.2%	0	0	6
	その他	10	0.7%	0	0.0%	1	2.1%	3	0.3%	6	2.6%	0	0.0%	3	0.6%	0	0	3
	供給停止	993	67.1%	42	37.8%	23	48.9%	754	69.3%	174	74.4%	10	100%	345	68.9%	11	6	328
	合計	1,480	100%	111	100%	47	100%	1,088	100%	234	100%	10	100%	501	100%	11	6	484

剤形別の製造販売業者の「出荷対応」の状況（薬価削除予定品目を除外）

● 「薬価削除予定」品目は、『「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている品目』である。これらの品目で「限定出荷」や「供給停止」にあるものはそれ以外の品目とは状況が異なるため、下記ではそれらを除いて集計している。供給状況は、内用薬と注射薬は前月から改善しているが、外用薬が悪化しているため、全剤形でみると改善していない。

内用薬

外用薬

注射薬

製造販売業者の 「出荷対応」の 状況	合計		先発品		長期収載品		後発品		その他の医薬品	
	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比
通常出荷	8,670	87.5%	1,016	91.9%	773	89.1%	4,418	84.1%	2,463	91.8%
通常出荷以外	1,243	12.5%	90	8.1%	95	10.9%	837	15.9%	221	8.2%
限定出荷	950	9.6%	73	6.6%	80	9.2%	651	12.4%	146	5.4%
自社の事情	327	3.3%	25	2.3%	26	3.0%	216	4.1%	60	2.2%
他社品の影響	534	5.4%	39	3.5%	47	5.4%	387	7.4%	61	2.3%
その他	89	0.9%	9	0.8%	7	0.8%	48	0.9%	25	0.9%
供給停止	293	3.0%	17	1.5%	15	1.7%	186	3.5%	75	2.8%
合計	9,913	100%	1,106	100%	868	100%	5,255	100%	2,684	100%
通常出荷	1,761	86.4%	393	93.1%	168	88.9%	687	79.9%	513	90.5%
通常出荷以外	277	13.6%	29	6.9%	21	11.1%	173	20.1%	54	9.5%
限定出荷	231	11.3%	17	4.0%	16	8.5%	158	18.4%	40	7.1%
自社の事情	86	4.2%	8	1.9%	9	4.8%	52	6.0%	17	3.0%
他社品の影響	115	5.6%	8	1.9%	7	3.7%	81	9.4%	19	3.4%
その他	30	1.5%	1	0.2%	0	0.0%	25	2.9%	4	0.7%
供給停止	46	2.3%	12	2.8%	5	2.6%	15	1.7%	14	2.5%
合計	2,038	100%	422	100%	189	100%	860	100%	567	100%
通常出荷	2,785	83.3%	1,221	93.9%	183	91.5%	640	78.1%	741	72.4%
通常出荷以外	559	16.7%	80	6.1%	17	8.5%	179	21.9%	283	27.6%
限定出荷	476	14.2%	56	4.3%	15	7.5%	147	17.9%	258	25.2%
自社の事情	192	5.7%	31	2.4%	6	3.0%	47	5.7%	108	10.5%
他社品の影響	250	7.5%	23	1.8%	9	4.5%	91	11.1%	127	12.4%
その他	34	1.0%	2	0.2%	0	0.0%	9	1.1%	23	2.2%
供給停止	83	2.5%	24	1.8%	2	1.0%	32	3.9%	25	2.4%
合計	3,344	100%	1,301	100%	200	100%	819	100%	1,024	100%

(参考) 基礎的医薬品		(参考) 安定確保医薬品					
品目数	構成比	品目数	構成比	A	B	C	
784	88.9%	2,298	86.5%	72	33	2,193	
98	11.1%	359	13.5%	1	3	355	
80	9.1%	282	10.6%	0	3	279	
27	3.1%	84	3.2%	0	2	82	
47	5.3%	173	6.5%	0	1	172	
6	0.7%	25	0.9%	0	0	25	
18	2.0%	77	2.9%	1	0	76	
882	100%	2,657	100%	73	36	2,548	
274	92.9%	277	81.5%	26	8	243	
21	7.1%	63	18.5%	0	0	63	
16	5.4%	56	16.5%	0	0	56	
9	3.1%	18	5.3%	0	0	18	
6	2.0%	28	8.2%	0	0	28	
1	0.3%	10	2.9%	0	0	10	
5	1.7%	7	2.1%	0	0	7	
295	100%	340	100%	26	8	306	
614	75.7%	1,207	80.6%	108	28	1,071	
197	24.3%	290	19.4%	49	32	209	
191	23.6%	254	17.0%	48	28	178	
75	9.2%	98	6.5%	18	12	68	
99	12.2%	133	8.9%	29	16	88	
17	2.1%	23	1.5%	1	0	22	
6	0.7%	36	2.4%	1	4	31	
811	100%	1,497	100%	157	60	1,280	

※品目数：全薬価収載品目のうち、適切な回答があった品目（16,775品目）から薬価削除予定を除外した15,295品目について、製造販売業者の対応状況を剤形別に集計
 ※その他医薬品：局方品、漢方エキス剤、生薬、生物製剤（ワクチン、血液製剤等）、承認が昭和42年以前の医薬品など
 ※基礎的医薬品：医療上の必要性から薬価上の措置（薬価の下支え）が行われている医薬品
 ※安定確保医薬品：医療上必要不可欠であり、汎用され、安定確保について特に配慮が必要な医薬品

（日薬連「医薬品供給状況にかかる調査（2024年11月）」

製造販売業者の対応状況（全剤形）（「販売中止」品目を除外）

- 「薬価削除予定」品目は、『「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている品目』である。これらの品目で「限定出荷」や「供給停止」にあるものはそれ以外の品目とは状況が異なるため、下記ではそれらを除いて集計している。

製造販売業者		合計										(参考) 基礎的医薬品		(参考) 安定確保医薬品				
「出荷対応」の状況	「出荷量」の状況	合計		先発品		長期収載品		後発品		その他の医薬品		品目数	構成比	品目数	構成比	A	B	C
		品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比							
通常出荷		13,216	86.4%	2,630	93.0%	1,124	89.4%	5,745	82.9%	3,717	86.9%	1,672	84.1%	3,782	84.2%	206	69	3,507
	出荷量増加	3,056	20.0%	154	5.4%	71	5.6%	2,427	35.0%	404	9.5%	240	12.1%	1,055	23.5%	73	15	967
	出荷量通常	9,350	61.1%	2,395	84.7%	912	72.6%	3,047	43.9%	2,996	70.1%	1,275	64.1%	2,509	55.8%	108	49	2,352
	出荷量減少	810	5.3%	81	2.9%	141	11.2%	271	3.9%	317	7.4%	157	7.9%	218	4.9%	25	5	188
限定出荷 (自社の事情)		605	4.0%	64	2.3%	41	3.3%	315	4.5%	185	4.3%	111	5.6%	200	4.5%	18	14	168
	出荷量増加	109	0.7%	3	0.1%	4	0.3%	86	1.2%	16	0.4%	10	0.5%	34	0.8%	0	2	32
	出荷量通常	260	1.7%	27	1.0%	17	1.4%	136	2.0%	80	1.9%	43	2.2%	85	1.9%	8	2	75
	出荷量減少	236	1.5%	34	1.2%	20	1.6%	93	1.3%	89	2.1%	58	2.9%	81	1.8%	10	10	61
限定出荷 (他社品の影響)		899	5.9%	70	2.5%	63	5.0%	559	8.1%	207	4.8%	152	7.6%	334	7.4%	29	17	288
	出荷量増加	353	2.3%	15	0.5%	12	1.0%	283	4.1%	43	1.0%	27	1.4%	117	2.6%	5	5	107
	出荷量通常	468	3.1%	46	1.6%	48	3.8%	228	3.3%	146	3.4%	103	5.2%	180	4.0%	20	11	149
	出荷量減少	78	0.5%	9	0.3%	3	0.2%	48	0.7%	18	0.4%	22	1.1%	37	0.8%	4	1	32
限定出荷 (その他)		153	1.0%	12	0.4%	7	0.6%	82	1.2%	52	1.2%	24	1.2%	58	1.3%	1	0	57
	出荷量増加	71	0.5%	4	0.1%	2	0.2%	54	0.8%	11	0.3%	3	0.2%	27	0.6%	1	0	26
	出荷量通常	59	0.4%	5	0.2%	4	0.3%	18	0.3%	32	0.7%	17	0.9%	22	0.5%	0	0	22
	出荷量減少	23	0.2%	3	0.1%	1	0.1%	10	0.1%	9	0.2%	4	0.2%	9	0.2%	0	0	9
供給停止		422	2.8%	53	1.9%	22	1.8%	233	3.4%	114	2.7%	29	1.5%	120	2.7%	2	4	114
	出荷停止	422	2.8%	53	1.9%	22	1.8%	233	3.4%	114	2.7%	29	1.5%	120	2.7%	2	4	114
製造販売業者の 「出荷量」の状況	出荷量増加	3,589	23.5%	176	6.2%	89	7.1%	2,850	41.1%	474	11.1%	280	14.1%	1,233	27.4%	79	22	1,132
	出荷量通常	10,137	66.3%	2,473	87.4%	981	78.0%	3,429	49.5%	3,254	76.1%	1,438	72.3%	2,796	62.2%	136	62	2,598
	出荷量減少	1,147	7.5%	127	4.5%	165	13.1%	422	6.1%	433	10.1%	241	12.1%	345	7.7%	39	16	290
	出荷停止	422	2.8%	53	1.9%	22	1.8%	233	3.4%	114	2.7%	29	1.5%	120	2.7%	2	4	114
	合計	15,295	100%	2,829	100%	1,257	100%	6,934	100%	4,275	100%	1,988	100%	4,494	100%	256	104	4,134

※品目数：全薬価収載品目のうち、適切な回答があった品目（16,775品目）から薬価削除予定を除外した15,295品目について、製造販売業者の対応状況を集計

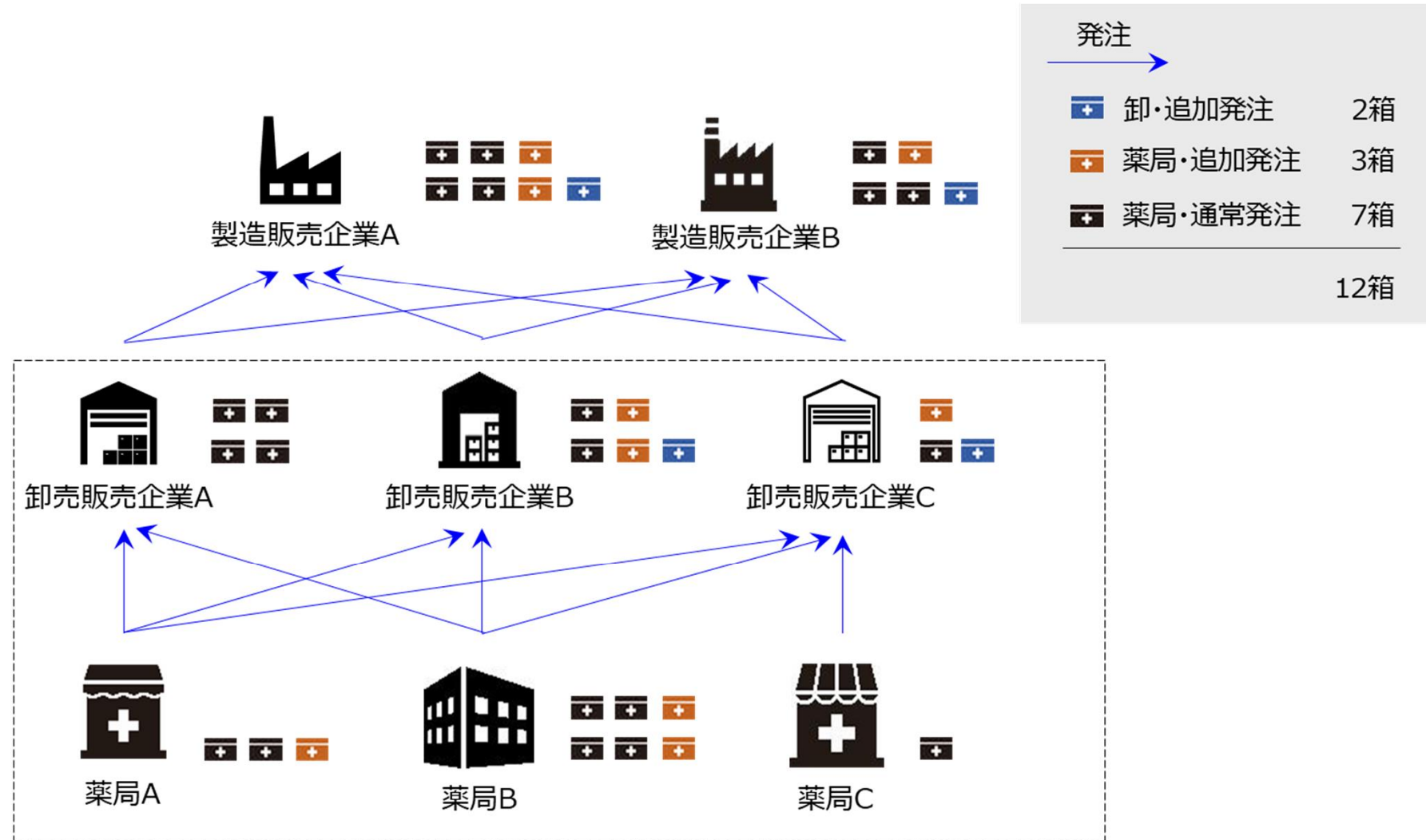
※その他医薬品：局方品、漢方エキス剤、生薬、生物製剤（ワクチン、血液製剤等）、承認が昭和42年以前の医薬品など

※基礎的医薬品：医療上の必要性から薬価上の措置（薬価の下支え）が行われている医薬品

※安定確保医薬品：医療上必要不可欠であって、汎用され、安定確保について特に配慮が必要な医薬品

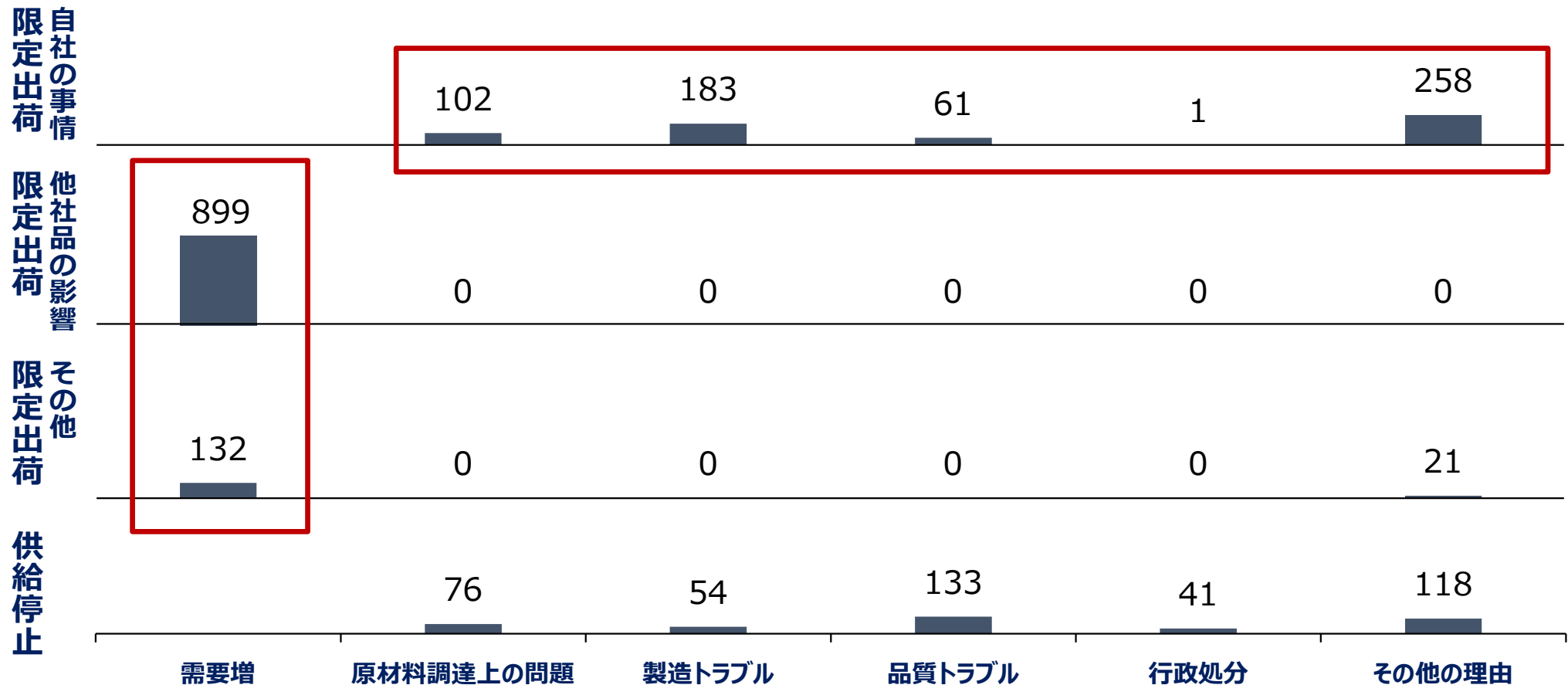
供給不安の一因

- 現在の医薬品の供給不足の中で、医療機関・薬局の発注量は実需要以上となっている（bullwhip effect）。
- このような中で製造販売企業は全ての受注に応える「通常出荷」が行えず、「限定出荷」が多く発生している。製造販売企業の「限定出荷」が解除されないことが供給不安が長期化する一因となっている。



製造販売企業の皆様へのお願い

- 自社の事情で「限定出荷」、「供給停止」している品目については、「通常出荷」となるよう一層の取り組みをお願い致します。
- 他社品の影響、その他（季節性製剤や一過性需要過多、災害等による被害など）で「限定出荷」している品目については、次頁に示した「通常出荷」品目数の割合が過半を占める成分規格一覧を参考に増産対応、「限定出荷」解除の検討をお願い致します。



※全薬価収載品目のうち、適切な回答があった品目（16,775品目）から薬価削除予定を除外した15,295品目について、限定出荷／供給停止の理由を集計

【需要増】同一成分規格の他社品の影響で自社品の需要が増加している場合、季節性製剤や一過性の需要過多などで予測を上回る需要となっている場合 など

【原材料調達上の問題】原材料（原薬、天然由来原料、生物由来原料、添加物、容器、包装資材など）の不足や調達遅延が生じている場合 など

【製造トラブル】工場の設備・機器・システム問題で製造が停止している場合、工場の人員不足による影響で製造遅延が生じている場合 など

【品質トラブル】品質不良が判明し、出荷に影響が出ている場合、不良品の廃棄や回収を行っている場合 など

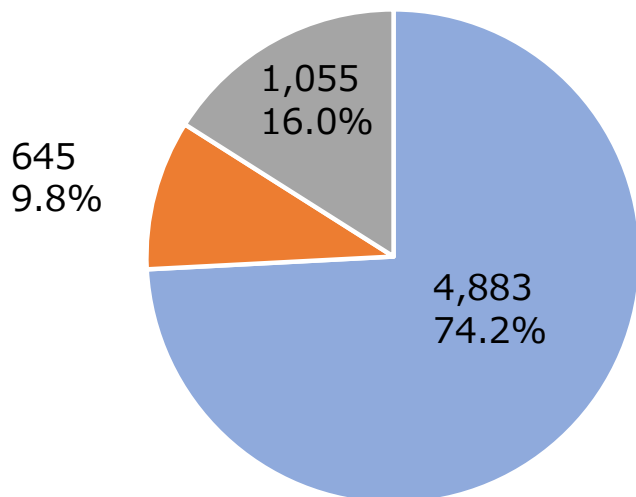
【行政処分】薬機法等関係法令違反により行政処分を受けたことがきっかけとなっている場合

【その他の理由】上記のいずれにも当てはまらない場合

成分規格で見た供給状況

- 11月調査の対象となっている全成分規格**6,583**の中、同一成分内において全ての品目が「通常出荷」の成分規格数は**4,883（74.2%）**である。
- 供給不安の成分規格において、「通常出荷」品目数の割合が過半を占める成分規格は**645（9.8%）**です。
これらの成分規格中には、当該成分規格の「限定出荷」品目の「限定出荷」を解除することで成分規格全体が「通常出荷」となる可能性がある成分規格があります。

※「通常出荷」品目数の割合が過半を占める成分規格（イメージ）



- 全ての品目が「通常出荷」の成分規格
- 「通常出荷」品目の割合が50%超の成分規格
- 「通常出荷」品目の割合が50%以下の成分規格

（全体：6,583成分規格）

成分	規格	製品	製品区分	出荷量の状況	製造販売業者の対応状況
●●	5 mg錠	A	長期収載品	A.出荷量通常	①通常出荷
		B	後発品	A.出荷量通常	①通常出荷
		C	後発品	A.出荷量通常	①通常出荷
		D	後発品	A.出荷量通常	③限定出荷（他社品の影響）
		E	後発品	A.出荷量通常	③限定出荷（他社品の影響）

「通常出荷」が過半以上

「限定出荷」となっている品目（D、E）の「限定出荷」を解除することで成分規格全体が「通常出荷」となる可能性あり

製造販売企業の皆様へのお願い

現在、製造販売企業様におかれましては安定確保にご尽力いただいている中ではありますが、依然として多くの医薬品で供給不安が続いています。各社におかれましては、現在の供給不安が解消するよう、引き続き、増産対応、限定出荷の解除、供給状況に関する最新情報の提供に努めていただきますよう改めてお願い致します。

2023年5月調査公表分より、製造販売企業の皆様向けに当該成分規格の「限定出荷」品目の限定出荷を解除することで成分規格全体として通常出荷となる可能性のある成分規格（※）につきまして公表させていただきます。リストのご確認、限定出荷解除のご検討をお願い致します。

※成分規格全体が通常出荷となる可能性のある成分規格リスト（2024年11月）（excel）

令和4年1月25日付厚生労働省医政局経済課長通知（医政経発0125第1号「医療用医薬品の供給不足に係る対応について」の別添1に係る医薬品の供給状況の調査について（調査協力依頼））において、製造販売する医薬品を安定的に供給することは一義的には製造販売企業の責務であることから、該当する成分規格を製造販売する製造販売企業は該当品目の供給の状況について自社のウェブサイト等において公表し、その旨を日薬連に報告するよう要請されております。また日薬連はそれらの情報をとりまとめ公表するよう要請されておりますので、ご協力をお願い致します。

日薬連「供給状況調査」の調査項目

日薬連「供給状況調査」の調査項目（１）

○製造販売業者の「出荷対応」の状況

- | | |
|---------------|---|
| ①通常出荷 | ： 全ての受注に対応できている、かつ十分な在庫量が確保できている状況 ^{*1} |
| ②限定出荷（自社の事情） | ： 自社の事情（原料調達先、製造委託先を含む）により、全ての受注に対応できない状況 ^{*2} |
| ③限定出荷（他社品の影響） | ： 他社品の影響等にて、全ての受注に対応できない状況 |
| ④限定出荷（その他） | ： その他の理由 ^{*3} にて、全ての受注に対応できない状況 |
| ⑤供給停止 | ： 供給を停止している状況 |

*1： 平時には需要がないか極めて需要が少ないため常時出荷はしてないが、受注があれば対応できる品目についても該当

*2： 全ての受注に対応できない状況とは、新規顧客の注文や増量受注の辞退など

*3： その他の理由とは、感染症の流行拡大による一過性の需要過多、ここ数年急激な需要の変動がある品目の一過性の需要過多、災害等による被害など

※赤字：2024年10月 追記、補足など

<ご報告いただく際の留意点>

- 原料調達先、製造委託先に起因する「限定出荷」の場合は「②限定出荷（自社の事情）」を選択ください。
- もともとは他社品の影響で「限定出荷」を始めた品目（「③限定出荷（他社品の影響）」）であっても、現在「限定出荷」を続けなければならない理由が主に自社にある場合は、「②限定出荷（自社の事情）」を選択ください。
- もともとは災害による被害などにより「限定出荷」を始めた品目（「④限定出荷（その他）」）であっても、現在「限定出荷」を続けなければならない理由が主に自社にある場合は、上記同様「②限定出荷（自社の事情）」を選択ください。
- 原因となった他社品が「通常出荷」となっても、「限定出荷」中に急増した自社への需要が他社品「限定出荷」前の状態にすぐに戻らず、生産能力を超える需要が引き続き発生しているため、直ちに「通常出荷」に戻せない場合については、「③限定出荷（他社品の影響）」を選択ください。
- 「限定出荷」の理由が「②限定出荷（自社の事情）」と「③限定出荷（他社品の影響）」あるいは「④限定出荷（その他）」の両方に該当するような場合は、現在の主な理由を選択ください。
- 包装単位で「出荷対応」の状況が異なる場合は、成分規格単位でみて需要に応えられているか否かで上記定義を選択ください。

日薬連「供給状況調査」の調査項目（２）

○限定出荷／供給停止の理由

１．需要増：

同一成分規格の他社品の影響で自社品の需要が増加している場合、
感染症の流行拡大による一過性の需要過多などで予測を上回る需要となっている場合 など

２．原材料調達上の問題：

原材料（原薬、天然由来原料、生物由来原料、添加物、容器、包装資材など）の不足や調達遅延が生じている場合 など

３．製造トラブル（製造委託を含む）：

工場の設備・機器・システム問題で製造が停止している場合、工場の人員不足による影響で製造遅延が生じている場合 など

４．品質トラブル（製造委託を含む）：

品質不良が判明し、出荷に影響が出ている場合、不良品の廃棄や回収を行っている場合 など

５．行政処分（製造委託を含む）：

薬機法等関係法令違反により行政処分を受けたことがきっかけとなっている場合

６．薬価削除：

製造販売業者の「出荷量」の状況で「D. 薬価削除予定」を選択した場合のみ選択可能

７．－：

製造販売業者の対応状況で「①通常出荷」を選択した場合

８．その他の理由：

１．～ ７．のいずれにも当てはまらない場合

※ 「製造トラブル（製造委託を含む）」、「品質トラブル（製造委託を含む）」が行政処分に至っている場合は
「５．行政処分（製造委託を含む）」を選択

※ 行政処分がきっかけとなって判明した「製造トラブル（製造委託を含む）」、「品質トラブル（製造委託を含む）」
（製造方法等の変更が必要な場合を含む）の場合も「５．行政処分（製造委託を含む）」を選択

※ 行政処分を受けたことを契機として、当該品目の製造工場の稼働が低下し、当該品目を「限定出荷」、「出荷停止」せざるを得なくなった
場合も「５．行政処分（製造委託を含む）」を選択

※赤字：2024年10月 追記、補足など

<ご報告いただく際の留意点>

- 「限定出荷」、「供給停止」の理由は、ほとんどの場合「８．その他の理由」以外の選択肢に該当し、
「８．その他の理由」を選択するケースはごくまれであると想定しています。

日薬連「供給状況調査」の調査項目（3）

○限定出荷の解除見込み／供給停止の解消見込み

- ア. あり
- イ. なし
- ウ. 未定
- エ. -

○限定出荷の解除見込み時期／供給停止の解消見込み時期／販売中止品目の在庫消尽時期

具体的な時期を記載（例：2025年1月）

日薬連「供給状況調査」の調査項目（４）

○製造販売業者の「出荷量」の状況

- Aプラス. 出荷量増加** : 比較対象期間の出荷量※¹ 又は市場予測による予定出荷量※² の概ね110%以上の出荷状況
- A. 出荷量通常** : 比較対象期間の出荷量又は市場予測による予定出荷量の概ね90%以上110%未満の出荷状況
- B. 出荷量減少** : 比較対象期間の出荷量又は市場予測による予定出荷量の概ね90%未満の出荷状況
- C. 出荷停止** : 市場に出荷していない状況
- D. 薬価削除予定** : 「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている状況
(既に薬価削除の承認が得られている状況)

※¹ 比較対象期間の出荷量（比較出荷量）は、原則前年度（4月～3月）の月平均出荷量とする。

※² 季節による需要変化が大きい品目、ここ数年急激な需要の変動がある品目、新規収載品目などについては、それぞれの品目の市場予測による予定出荷量とするなど実態に則して判断ください。

※赤字：2024年10月 追記、補足など

<ご報告いただく際の留意点>

- 製造販売業者の「出荷量」の状況で「D.薬価削除予定」を選択する際の留意点は次頁以降を参照ください。

再掲 製造販売業者の「出荷対応」の状況（全剤形）

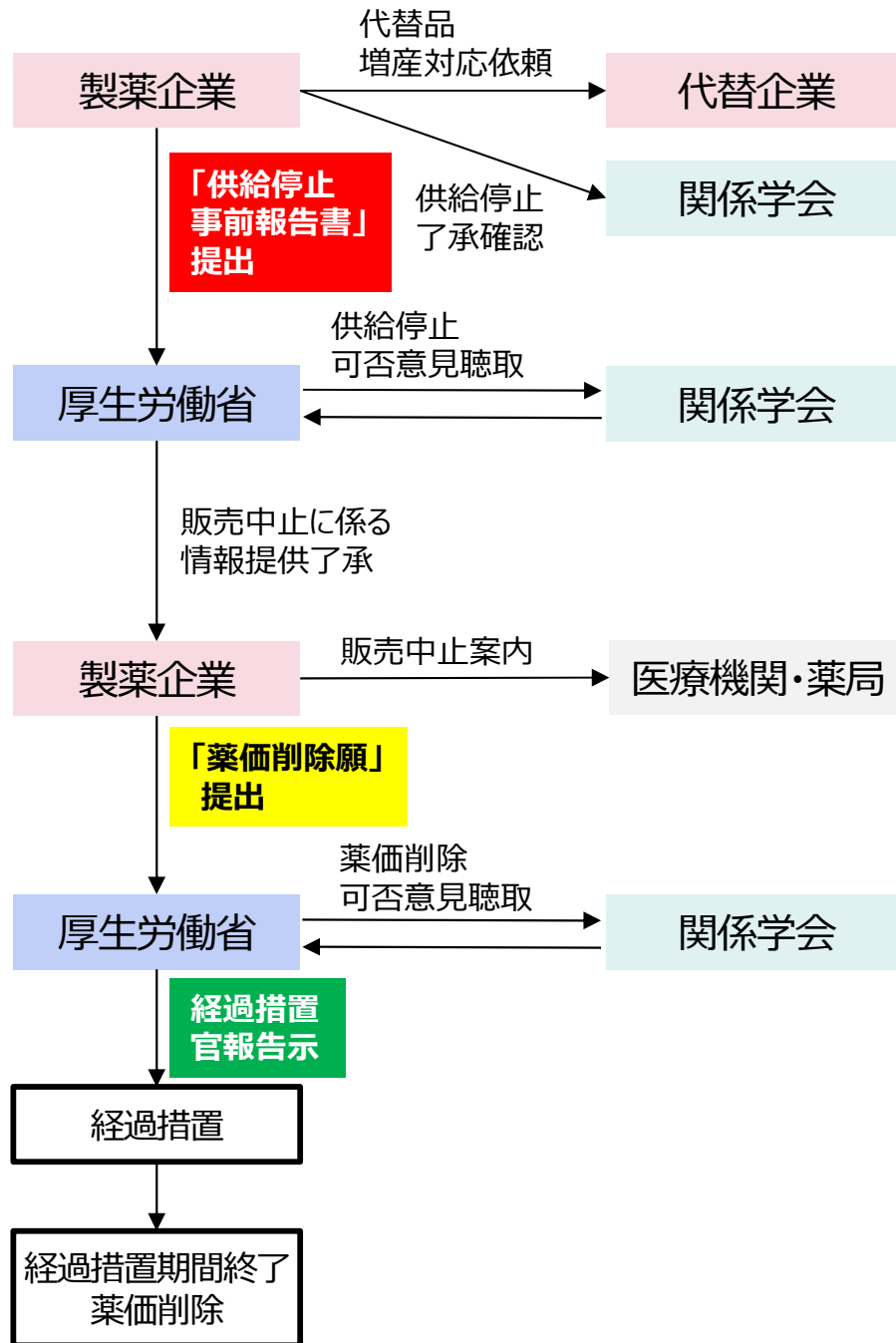
- 「薬価削除予定」品目は『「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている品目』である（既に薬価削除の承認が得られている状況）。これらの品目はそれ以外の品目とは状況が異なるため、製造販売業者の「出荷対応」の状況の集計では分けて集計している。

	製造販売業者の 「出荷対応」の状況	合計		先発品		長期収載品		後発品		その他の医薬品		(参考) 基礎的医薬品		(参考) 安定確保医薬品					
		品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	A	B	C	
全体	通常出荷	13,593	81.0%	2,696	91.7%	1,145	87.8%	6,001	74.8%	3,751	83.2%	1,672	83.7%	3,903	78.1%	206	69	3,628	
	通常出荷以外	3,182	19.0%	244	8.3%	159	12.2%	2,021	25.2%	758	16.8%	326	16.3%	1,092	21.9%	61	41	990	
	限定出荷	1,767	10.5%	149	5.1%	114	8.7%	1,034	12.9%	470	10.4%	287	14.4%	627	12.6%	48	31	548	
	自社の事情	679	4.0%	66	2.2%	42	3.2%	371	4.6%	200	4.4%	111	5.6%	226	4.5%	18	14	194	
	他社品の影響	925	5.5%	71	2.4%	64	4.9%	578	7.2%	212	4.7%	152	7.6%	340	6.8%	29	17	294	
	その他	163	1.0%	12	0.4%	8	0.6%	85	1.1%	58	1.3%	24	1.2%	61	1.2%	1	0	60	
	供給停止	1,415	8.4%	95	3.2%	45	3.5%	987	12.3%	288	6.4%	39	2.0%	465	9.3%	13	10	442	
	合計	16,775	100%	2,940	100%	1,304	100%	8,022	100%	4,509	100%	1,998	100%	4,995	100%	267	110	4,618	
	薬価削除予定 以外	通常出荷	13,216	86.4%	2,630	93.0%	1,124	89.4%	5,745	82.9%	3,717	86.9%	1,672	84.1%	3,782	84.2%	206	69	3,507
		通常出荷以外	2,079	13.6%	199	7.0%	133	10.6%	1,189	17.1%	558	13.1%	316	15.9%	712	15.8%	50	35	627
限定出荷		1,657	10.8%	146	5.2%	111	8.8%	956	13.8%	444	10.4%	287	14.4%	592	13.2%	48	31	513	
自社の事情		605	4.0%	64	2.3%	41	3.3%	315	4.5%	185	4.3%	111	5.6%	200	4.5%	18	14	168	
他社品の影響		899	5.9%	70	2.5%	63	5.0%	559	8.1%	207	4.8%	152	7.6%	334	7.4%	29	17	288	
その他		153	1.0%	12	0.4%	7	0.6%	82	1.2%	52	1.2%	24	1.2%	58	1.3%	1	0	57	
供給停止		422	2.8%	53	1.9%	22	1.8%	233	3.4%	114	2.7%	29	1.5%	120	2.7%	2	4	114	
合計		15,295	100%	2,829	100%	1,257	100%	6,934	100%	4,275	100%	1,988	100%	4,494	100%	256	104	4,134	
薬価削除予定		通常出荷	377	25.5%	66	59.5%	21	44.7%	256	23.5%	34	14.5%	0	0.0%	121	24.2%	0	0	121
		通常出荷以外	1,103	74.5%	45	40.5%	26	55.3%	832	76.5%	200	85.5%	10	100%	380	75.8%	11	6	363
	限定出荷	110	7.4%	3	2.7%	3	6.4%	78	7.2%	26	11.1%	0	0.0%	35	7.0%	0	0	35	
	自社の事情	74	5.0%	2	1.8%	1	2.1%	56	5.1%	15	6.4%	0	0.0%	26	5.2%	0	0	26	
	他社品の影響	26	1.8%	1	0.9%	1	2.1%	19	1.7%	5	2.1%	0	0.0%	6	1.2%	0	0	6	
	その他	10	0.7%	0	0.0%	1	2.1%	3	0.3%	6	2.6%	0	0.0%	3	0.6%	0	0	3	
	供給停止	993	67.1%	42	37.8%	23	48.9%	754	69.3%	174	74.4%	10	100%	345	68.9%	11	6	328	
	合計	1,480	100%	111	100%	47	100%	1,088	100%	234	100%	10	100%	501	100%	11	6	484	

薬価削除予定：「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている状況（既に薬価削除の承認が得られている状況）

「D.薬価削除予定」を選択いただく際の留意点

＜薬価削除プロセス＞



「薬価削除予定」以外を選択

「薬価削除予定」を選択

＜選択いただく際の留意点＞

- 「日薬連調査」／「供給状況報告」では、「薬価削除予定」品目は『「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている品目』としています。
- 製造販売業者として何らかの事由で薬価削除を検討している場合であっても「薬価削除願」を提出するまでは「D. 薬価削除予定」は選択しないでください。

＜選択いただく際の留意点＞

- 「D.薬価削除予定」を選択する場合は、「②9薬価基準収載品目削除願の提出年月／その他、製販として記載したいことを記載」の欄に必ず「薬価基準収載品目削除願の提出年月」を記入ください。提出年月の記入がない場合は「日薬連調査」／「供給状況報告」では「D.薬価削除予定」品目とはみなしません。
- なお、「薬価削除願」を提出し、「D. 薬価削除予定」にある品目であっても、製造販売業者は供給継続をできる体制を維持することとされています。したがって医療機関・薬局へ販売中止案内を終え供給量が減少しているような中でも特定の医療機関・薬局から供給要望がある場合にはそれに応えるよう製造販売業者は最大限努める必要があります。

日薬連「供給状況調査」の調査項目（５）

○報告日／情報更新日

提出する情報を更新した具体的な日付を品目ごとに記載（例：2025年1月5日）

○当月掲載情報確認済み

今回の提出にあたって製造販売業者として記載内容を確認したことを示す「○」を選択

○「限定出荷／供給停止の理由」で「1. 需要増」、「8. その他の理由」を選択した場合の理由（非公開）

- ・ 製造キャパシティ ： 製造能力が限られる。
- ・ 採算性 ： 製造原価、薬価等の点で採算性が厳しい。
- ・ 医療上の優先度判断 ： 製造上の優先度が下がっていると判断している
（より医療上の必要性が高い品目（安定確保医薬品等）への対応を優先して実施している）。
- ・ 需要減 ： 市場での需要が減少し、販売数量が減少している
（供給停止の場合のみ選択可。限定出荷の場合は選択不可）。
- ・ その他 ： 上記のいずれでもない理由

※ 複数選択可、当てはまるものすべてに「○」を選択

※ 需要減は需要増の場合選択不可（理由として矛盾するため）

※ 選択した理由については、非公開であり、回答内容は当局（及び集計委託業者）のみが扱い、匿名化された集計情報とした上で公表します。供給不安解消に向けた対策を検討するための重要な情報ですので実態通りご回答いただきますようお願い致します。

○上記の理由について具体的に記入（その他についても具体的に記入）（非公開）

○薬価基準収載品目削除願の提出年月（非公開）／その他、製販として記載したいことを記載（非公開）

日薬連「供給状況調査」と厚労省「供給状況報告」の項目一覧

日薬連「供給状況調査」と厚労省「供給状況報告」の項目一覧（1）

当該品目の基本情報

	① 薬剤 区分 ★1	② 薬効分類 （保険薬 収載時点の 薬効分類を 記載）	③ 成分名	④ 規格 単位 ※全角	⑤ YJコード	⑥ 品名 （承認書に 記載の正式 名称） ※全角	⑦ 製造 販売 会社 名	⑧ 製品 区分 ★2	⑨ 基礎的 医薬品 ★3	⑩ 安定 確保 医薬 品 ★4	⑪ 薬価 収載 年月 日 ★5
記載例	内用薬	▲▲▲	■ ■ ■	▲mg 1錠	1234567 A1234	■ ■ ■ 錠 ▲mg 「● ●」	● ●	後発 品	基礎的 医薬品	C	2020 /6/18
厚生労働省 医薬産業振興・ 医療情報企画課 「供給状況報告」	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)
日薬連 「医薬品供給状況 にかかる調査」	○ (公開)	—	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	—

- ★1 内用薬、注射薬、外用薬のいずれかをプルダウンより選択
- ★2 先発品、長期収載品、準先発品、後発品、その他医薬品のいずれかをプルダウンより選択
- ★3 基礎的医薬品の場合、基礎的医薬品をプルダウンより選択
- ★4 安定確保医薬品の場合、A、B、Cのいずれかをプルダウンより選択
- ★5 名称変更等で改めて薬価収載をしている場合、一番最初の薬価収載年月日を記入

日薬連「供給状況調査」と厚労省「供給状況報告」の項目一覧（2）

当該品目の供給状況

	⑫ 製造販売業者 の「出荷対応」 の状況★6	⑬ 限定出荷／ 供給停止 の理由★7	⑭ 限定出荷の 解除見込み／ 供給停止の 解消見込み ★8	⑮ 限定出荷の解除 見込み時期／ 供給停止の解消 見込み時期／ 販売中止品の 在庫消尽時期	⑯ 製造販売業者の 「出荷量」の状況 ★9	⑰ 報告日／ 情報更新日 ★10
記載例	③限定出荷(その他)	1.需要増	ア.あり	2024/10/1	A:出荷量通常	2024/5/1
厚生労働省 医薬産業振興・ 医療情報企画課 「供給状況報告」	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)
日薬連 「医薬品供給状況 にかかる調査」	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)

★6 ①～⑤のいずれかをプルダウンより選択

①通常出荷 ②限定出荷（自社の事情） ③限定出荷（他社品の影響） ④限定出荷（その他） ⑤供給停止

★7 1～8のいずれかをプルダウンより選択

1. 需要増 2. 原材料調達上の問題 3. 製造トラブル（製造委託を含む） 4. 品質トラブル（製造委託を含む）
5. 行政処分（製造委託を含む） 6. 薬価削除 7. - 8. その他の理由

★8 ア～エのいずれかをプルダウンより選択

ア. あり イ. なし ウ. 未定 エ. -

★9 Aプラス、A、B、C、Dのいずれかをプルダウンより選択

Aプラス. 出荷量増加 A. 出荷量通常 B. 出荷量減少 C. 出荷停止 D. 薬価削除予定

★10 提出する情報を更新した具体的な日付を品目ごとに記載

日薬連「供給状況調査」と厚労省「供給状況報告」の項目一覧（3）

当該品目の供給状況

	⑱ 当月掲載 情報確認 済み★11	⑲⑬の「限定 出荷／供給 停止の理由 が他社の影響 等による場合、 原因となった 医薬品名	⑳ ⑯の『製造 販売業者の 「出荷量」の 状況』の根拠 となる数量 ★12	㉑ 市場 シェア	㉒ 同成分での 代替薬	㉓ 他成分での 代替薬	㉔ 代替薬 製販企業との 調整状況
記載例	○	■ ■ ■錠 ▲mg 「◆◆」	● ● %	10.00%	・ ■ ■ ■錠 ▲mg 「◆◆」	・ ■ ■ ■薬 ・ ● ● ●薬	・ ■ ■ ■薬については、 製造販売企業に協力 依頼済み・了承済み (4/16)
厚生労働省 医薬産業振興・ 医療情報企画課 「供給状況報告」	—	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)
日薬連 「医薬品供給状況 にかかる調査」	○ (公開)	—	—	—	—	—	—

★11 日薬連調査のみの項目

★12 予定出荷量／（比較対象期間の出荷量又は市場予測による予定出荷量）×100で算出

日薬連「供給状況調査」と厚労省「供給状況報告」の項目一覧（４）

当該品目の供給状況

	㉔ 学会、 医療関係 団体との 調整状況	㉕ 審査課、 監麻課 との 調整状況	㉖ ⑬の「限定出荷／供給停止の理由」で「1.需要増」 「8.その他の理由」を選択した場合の理由 ★13					㉗ ㉖の理由について 具体的に記入 （その他について も具体的に記入）
			製造 キャパシティ	採算性	医療上の 優先度判断	需要減	その他	
記載例	・★★学会 に 説明予定 (4/18)		○					●●
厚生労働省 医薬産業振興・ 医療情報企画課 「供給状況報告」	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)
日薬連 「医薬品供給状 況にかかる調査」	—	—	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)

★13 複数選択可、当てはまるものすべてに○

- ・製造キャパシティ：製造能力に限られる。
- ・採算性：製造原価、薬価等の点で採算性が厳しい。
- ・医療上の優先度判断：製造上の優先度が下がっていると判断している（より医療上の必要性が高い品目（安定確保医薬品等）への対応を優先して実施している）。
- ・需要減：市場での需要が減少し、販売数量が減少している（供給停止の場合のみ選択可。限定出荷の場合は選択不可）。
- ・その他：上記のいずれでもない理由

日薬連「供給状況調査」と厚労省「供給状況報告」の項目一覧（５）

当該品目の供給状況

	② 薬価基準収載品目削除願の提出年月 ／その他、製販として記載したいことを記載	報告企業担当者連絡先			備考
		担当者名	電話番号	メールアドレス	
記載例	2023/6/4	● ● ● ●	XX-XXXX-XXXX	XXX@ XXX.co.jp	
厚生労働省 医薬産業振興・ 医療情報企画課 「供給状況報告」	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)
日薬連 「医薬品供給状況 にかかる調査」	○ (非公開)	—	—	—	—

**日薬連「供給状況調査」と厚労省「供給状況報告」
の差異解消のお願い**

日薬連として、2023年4月以降、「日薬連調査」（以下、本調査）を毎月実施し、その結果を公表していますが、依然として多くの医薬品で供給不安が生じており、医療機関・薬局では必要な医薬品の入手が困難な状況が続いています。

この状況を改善すべく、製造販売企業の皆様には2024年4月から 本調査に加え、厚生労働省の「供給状況報告」にもご対応いただいておりますが、「供給状況報告」が業界全体に定着した段階本調査は終了する予定です。

「供給状況報告」は、出荷状況等に変更があった場合に随時皆様より厚生労働省へご報告いただき、それらは厚生労働省のHPに公表されておりますが、8月8日に開催された「第14回医療用医薬品の安定確保策に関する関係者会議」において、本調査報告と「供給状況報告」の内容の差異、「供給状況報告」への提出漏れが指摘されています。正確な報告が随時行われませんと従前の情報がそのまま厚生労働省のHPに掲載され続けることとなるため、各社におかれては正確な情報を遅滞なくご報告いただく必要がございます。

また上記状況を解消するに留まらず、現在も20%近くに及んでいる「通常出荷」されていない品目につきましては、業界として、対応が必要な品目を明らかにし、「限定出荷」と「供給停止」を減らしていく取組みを確実に進めなければなりません。

製造販売企業の皆様、引き続き、ご協力宜しくお願い致します。

製造販売企業の皆様へのお願い

日薬連「供給状況調査」と厚労省「供給状況報告」の差異解消のお願い

- 毎月、日薬連「供給状況調査」をご提出いただく際には、必ず厚生労働省のHP上に掲載されている 医療用医薬品供給状況の自社品目の供給状況内容をご確認いただき、日薬連「供給状況調査」と差異がある場合は変更内容を厚生労働省にご報告ください。
- 日薬連「供給状況調査」の提出及び厚労省「供給状況報告」の際には、「⑰報告日／情報更新日」の記載日が最新の情報に更新されているか、今一度ご確認ください。
- 日薬連「供給状況調査」をご提出いただく際には、経過措置期限が切れた薬価削除品目など一覽に掲載の必要のない品目、あるいは新規薬価収載品目や製販企業に変更がある場合は日薬連「供給状況調査」提出先（厚生労働省が委託する事業者）にその旨をご連絡いただき、併せて厚生労働省にもご報告ください。その際は「⑤YJコード」と「⑥品名（承認書に記載の正式名称）」を必ずご報告ください。また、厚労省「供給状況報告」については薬価収載されてない医療用医薬品についてもご報告ください。
- 新規薬価収載品目が未発売の場合でも品目一覽には掲載する必要があります。ただし、未発売のため供給状況に関わる各項目の報告、記載は不要です。
- 次月の日薬連「供給状況調査」までの間に自社品目の供給状況に変更が生じた場合は、変更内容を必ず厚生労働省にご報告ください。

日薬連「供給状況調査」と厚労省「供給状況報告」の運用

	実施主体	報告／調査 頻度	対象品目	報告／調査 提出先	公表	備考
厚労省「供給状況 報告」	厚生労働省 産情課	随時	全ての医療用医薬品 (薬価収載されて いない品目を含む)	厚生労働省 産情課	逐次 ※1	
日薬連「供給状況 調査（医薬品供給 状況にかかる調 査）」	〔 日薬連 厚生労働省産情課 と連携 〕	月 1 回 (月末)	全ての医療用医薬品 (薬価収載品のみ)	厚生労働省が 委託する 事業者	月 1 回 〔 翌月 中旬 〕	調査は一定の 移行期間まで 継続

※1 開庁の前日（24時迄）に受け付けた報告を翌日15時を目途に厚生労働省HP上に公表

問い合わせ先

日薬連「医薬品供給状況にかかる調査」についての問合せ先

日本製薬団体連合会 担当：沼澤

TEL：03-3527-3154（受付時間 10:00～17:00、土日・祝日を除く）

E-Mail：survey220603@fpmaj.gr.jp

厚生労働省「供給状況報告」についての問合せ先

厚生労働省 医政局 医薬産業振興・医療情報企画課：藪田、川名

TEL：03-3595-2421

E-Mail：drug-shortage@mhlw.go.jp